

中世までのヨーロッパ世界(100~101頁)

十字軍によってイスラム世界と接したヨーロッパはどのように変化したのか

[古代ヨーロッパの歴史]

戦国大名たちが各地で戦いをくり広げているころ、日本に初めてヨーロッパ人がやってきます。ヨーロッパ人は、それまでの日本にはなかった画期的な武器や新しい宗教を持っていました。ヨーロッパ人はなぜ日本にやってきたのでしょうか？その理由を授業で見ていきます。より深く歴史を理解することができるはずです。

古代	…	□□□□□	=古代に地中海周辺を統一した大帝国
1世紀	…○	教が成立	開祖 聖地①②③
380年	…○	教を国教とする	
395年	…○	帝国が東西に分裂	
476年	…○	西ローマ帝国が滅ぶ	

西ヨーロッパ諸国と結びついた教会

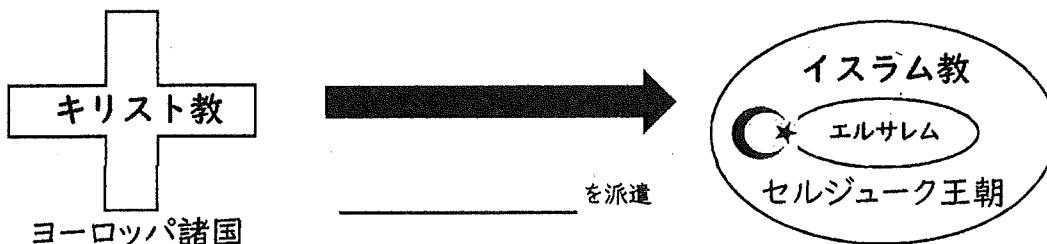
ビザンツ(東ローマ)帝国と結びついた教会

メモ欄

*②はカトリック教会の聖地でスペインにあり、正教会ではコンスタンティノープル(現イスタンブール)が聖地になる。①③は共通。

[キリスト教VSイスラム教]

ローマ帝国の東西の分裂に伴い、キリスト教も分裂しました。そうした混乱の中、ビザンツ帝国の東にあるセルジューク王朝(イスラム教)に大切な聖地エルサレムを占領されてしまい、そこから聖地エルサレムをめぐる争いがキリスト教とイスラム教の間で繰り広げられました。



*協会も分裂した

*カトリック教会の最高権威をローマ法王(教皇)と呼ぶ。

※法皇の偉さ

[十字軍の成果]

第1回	1096~1099年	十字軍、エルサレムを奪還
		<p>十字軍と一緒に行動したフランスの聖職者の日記</p> <p>聖地エルサレムの大通りや広場には、イスラム教徒の頭や腕や足が高く積み上げられていた。しかし当然の報いだ。 長いあいだイスラム教徒たちが汚したこの聖地を彼らの血で洗うという“神の裁き”は正しく、むしろほめられるべき行動なのだ。」</p>
第2回	1147~1148年	成果なく撤退 → イスラム教徒にエルサレムを奪い返される(1187年)
第3回	1189~1192年	失敗
第4回	1202~1204年	エルサレムを攻撃するはずだった十字軍は、目的を見失い、同じキリスト教国であり仲間であるはずの東ローマ帝国を攻撃、首都・コンスタンティノープルを占領し、略奪の限りをつくす。
第5回	1218~1221年	失敗
第6回	1228~1229年	十字軍、エルサレムを奪還 → イスラム教徒に奪い返される(1244年)
第7回	1248~1249年	失敗

ヨーロッパ世界の変化(101~103頁)

イスラム世界との接近によってヨーロッパはどのように変化したのか

前回の学習では、十字軍の遠征によってイスラム世界と接したヨーロッパのその後の変化について簡単に触れました。今回の学習では、その変化を3つに分類して詳しく学習します。その際、「その後の日本はどうつながるのか」ということを意識しておくといいでしよう。

メモ欄

[3つのキーワード]

14~15世紀のイタリア

16世紀初めのドイツ

14~16世紀のスペイン・ポルトガル

中世

…○国と教会の結びつきが強まった時代。

ローマ教皇(法皇)のよびかけて始まった_____は失敗した。

失敗したせいで、私やカトリック教会の力は弱まってしまった…なんとかせねば…。



ローマ教皇

問 教皇(と教会)の代わりに力を伸ばしたのは誰だろう?

十字軍についていったイタリアの商人たちは、イスラムの文化や産物を積極的にヨーロッパに持ちこみ、多くの利益を得ました。それとともにヨーロッパでは、それまでの「神中心」の生活から「人間中心」の生活に変えていこうという動きが起こりました。



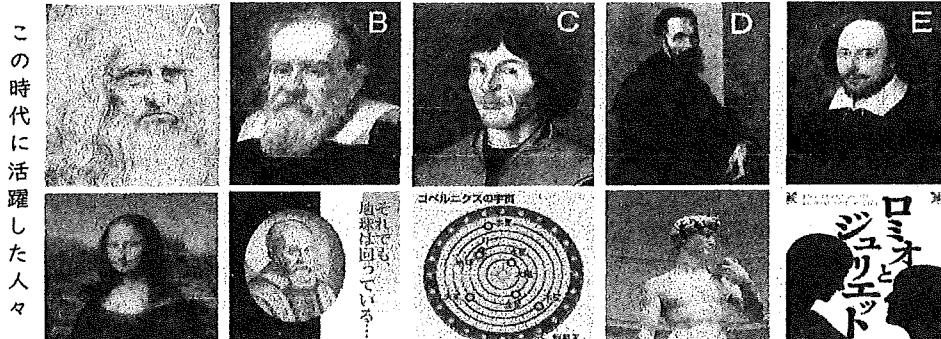
中世では信仰の対象である聖母は大きく描かれ表情がない。ルネサンスに入ると、人間らしく描かれた。

14世紀

…○_____という国を中心が始まった



この時代に「万能の天才」と呼ばれる活躍をしたのが、Aの人物です。



←(文芸復興)

A= _____
「モナ・リザ」

B= _____
「地動説」

C= _____
「地動説」

D= _____
「ダビデ像」

E= _____
「ロミオとジュリエット」

[宗教改革の始まり]

十字軍の失敗のせいで私やカトリック教会への信頼は失われた…。こうなったら芸術家たちを集めて豪華に装飾された新たな建築物を作ろう!でも多額の遠征費のせいでお金ない…



ローマ教皇

16世紀

…○教皇は、足りない分のお金を集めるために、

(贖宥状)を発行。

問題 教会のこの行動にあなたは賛成ですか?反対ですか?
また、なぜそう思ったのか理由を書きなさい。

(賛成・反対)です。その理由は、

※これをお金で買えば、生きてる間の罪が許され、天国に行けるという札

織田信長と豊臣秀吉(106~109頁)

織田信長と豊臣秀吉はどのように天下統一を進めていったのか

※今日はたくさんメモを取りながらがんばろう!

[戦国時代の日本の国づくりのテーマ]

戦国時代の日本は、天皇や室町幕府はありましたが、それが全国を治める力をなくして、バラバラになってしまった時代でした。それと全く同じころ、ヨーロッパは大航海時代(=ポルトガルとスペインが全世界を支配しようと侵略を始めた時代)でもありました。この危険な時代に、わが国は小国に分裂して内輪もめをしていましたことになります。ですから、戦国時代の日本の国づくりには大きなテーマが2つありました。

①内戦を終わらせ、日本をもう一度まとった国にすること(天下統一)

②キリスト教の国(スペインやポルトガル)と、どう付き合っていくのか考えること

※強い国とは貿易し、弱い国なら大砲と鉄砲で征服するような国。

[天下統一へ]

1560年
(信長27歳)



名前		出身

… の戦いで駿河国(静岡)の大だぬである今川義元を破る。

1568年
(信長35歳)



… 京を追われていた足利義昭と共に上洛し、義昭が第15代将軍に。

1573年
(信長40歳)

… 足利義昭を京から追放し、室町幕府が滅ぼした。同年、浅井氏・朝倉氏を滅ぼし、その残党を匿った比叡山延暦寺を焼き払い、関係者を皆殺しにした。

1575年
(信長42歳)

… 問① 戦国最強といわれる武田軍1万3000人が攻めてきた。この戦いで信長は、世界の歴史上初めてある大量の兵器を使った。いったい何を使ったのだろう?

- A 大量の鉄砲 B 大量の大砲 C 大量の爆弾

1576年
(信長43歳)

… 問② 3年かけて、琵琶湖のそばに、5層の天守を持つ城を築き、力の大きさを見せつけた。信長はこの城下町で新しいルールを作った。それを何というか?

→

1580年
(信長47歳)

… 問③ 信長の最大の敵は仏教徒でしたが、10年以上かかってこれを押さえます。では、キリスト教徒に対してはどうしただろう?

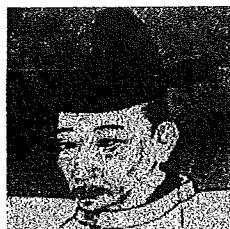
→

1582年
(信長49歳)

… ○家臣の明智光秀に裏切られて、自害した。

--	--	--	--	--	--

信長は天下統一を目の前にして倒れました。しかし、彼の行動は日本の分裂状態を終わらせるきっかけになりました。彼の「日本統一バトン」を受け取って、それを仕上げたのは部下の秀吉でした。



名前		出身

略歴

百姓出身で、17歳で信長に仕える。冬に信長の草履を懐に入れて温めておくなど機転を利かせ、次第に頭角をあらわす。30代で一国一城の主となり、羽柴秀吉と改名。その後克上の世とはいえ世界で類を見ない出世を果たす。

1582年
(秀吉45歳)

… ■秀吉が、毛利氏の城である高松城を水攻めにしている真っ最中のこと。秀吉軍は一人のスパイを捕えます。その男は「信長が明智光秀に討たれた」という大ニュースを持っていました。

秀吉は高松城攻めを直ちに休戦して、大軍を率いて京都まで駆け抜けました(中国大返し)。秀吉は、誰よりも早く、信長のかたきを討ち、天下統一のバトンを受けつぎました。

メモ欄

※今川勢約25000人に對し、織田勢約2000人で倒す。この時今川側には家康。

※上洛とは?
※足利義昭は覚える

※信長秀吉の活躍した時代を安土桃山時代といふ。

※浄土真(一向)宗
※側近のフロイス
黒人もいた

※大河ドラマ『麒麟がくる』で主人公

※当初は木下藤吉郎と名乗る。

資料①『フロイス日本史(1594年)』より

安土城についてのフロイスの感想

天守閣は石垣を高さ20mあまり築いた上にたてられていた。ヨーロッパのどんな塔よりも気品があり、壮大な建物である。外部は層ごとに色分けされている。あるものは黒く、あるものは赤、あるものは緑であり、最上階は黄金である。

織田信長についてのフロイスの感想

この王は、長身でやせており、甲高い声を出す。傲慢で決断が早く、部下の言うことはほとんど聞かない。戦術に巧みである。みなから恐れられ、敬われている。彼はほかの大名を軽蔑し、肩の上から話しかけるような口の利き方をする。

かれは自分を『魔王』(宗教の敵)と言っている。また、日本では、自分こそが生きた神であり、生きた仏であり、神主や坊主が大事にしている木や石など神ではないのだ、と言っている。

ポルトガル人が日本人を奴隸として売っていることを知ったときの秀吉の感想

九州に来るポルトガル人らが、多数の日本人を購入し、奴隸として連行していることも知っている。それらは許すべからざる行為である。よってバテレンは、売られていったすべての日本人をふたたび日本に連れ戻すようにせよ。もしそれが遠すぎて不可能であるならば、少なくとも現在ポルトガル人らが購入している人々を解放せよ。

資料② 刀狩令

一、各地の百姓が、刀や短刀、弓、槍、鉄砲、その他の武器を持つことをきびしく禁止する。

一、集めた刀や短刀はむだにしてはならないので、このたび、建てさせている京都の方広寺の大仏殿のためのクギやカスガイに使いなさい。そうすれば、現世はもちろん、あの世までも百姓は救われるだろう。

一、百姓は、農具を持って、ひたすら農業にうちこんでいれば、子孫の末まで長く安樂に暮らせるものである。だから、いまこうして、武器を取り上げるのは、百姓を愛すればこそのことなのである。

一、世に不要な武器がなくなれば、国内は安らかになり、人々もまた幸せになるのである。

資料③ 朝鮮出兵のねらい

この時代、世界全体を見渡せば、まさにスペインが、世界を制した時代です。世界の8割は、スペインの植民地となっていました。そして秀吉の時代、彼らにまだ征服されていなかったのは、東アジアでは、明(中国)と日本だけとなっていたのです。

すでに世界一大量に鉄砲を持っていた日本は、たとえ少數のスペイン軍が攻めてきたとしても負ける心配はありません。ところが、もしスペインが明を植民地にしてしまうと、様子が違ってきます。いかに数多くの鉄砲を日本が持っているとはいえ、スペインに支配された明の兵が、数の力にモノを言わせて日本に攻め込んできたら、これは大変なことになる。元寇の再来です。

となれば、その驚異を取り除くには、スペインよりも先に明を日本の支配下に置くしかない。万が一明まで攻めこむことができなかつたとしても、朝鮮半島を押さえておけば、日本への侵入を防ぐことができる…!

秀吉が目指したのは、あくまでも戦のない世の中だったのです。それでもどうしてもおそいかかる敵は、圧倒的な武力で制圧する。その上で、相手の武力そのものも奪ってしまう。そうすることで秀吉は戦のない世の中を実現しようとしたのではないかでしょうか。

コラム①「信長・秀吉よりも前に天下統一を果たした男…」

戦国時代には多くの戦国大名は天下統一を目指し、諸国の大名たちと争いを続けていました。その中で天下人として多くの戦国大名の頂点に君臨した最初の人物が織田信長でした。信長の死後、豊臣秀吉そして徳川家康が彼に代わって頂点に君臨したことはあまりにも有名な話です。しかし、実はこの戦国の乱世に信長よりも早く天下人となった人物がいました。その人物こそが三好長慶(みよしながよし)でした。

三好家はもともと足利幕府のNo.2である三管領の一人である細川氏に仕えていました。長慶は12歳のころ、上司であった細川晴元を困らせていた一向一揆の問題を難なく解決したことがきっかけで出世しました。その後、上司である晴元と足利家の争いの勝利に貢献し、最後は敵対した晴元を京都から追放しました。



桃山文化(110~111頁)

安土桃山時代の文化は、どのような特色を持っていたのか

■平和になれば、文化が栄える。これはいつの時代でも一緒です。秀吉によって天下が統一されたときも、そうでした。

メモ欄

[外国の文化が入ってきた]

問題 次の言葉の中には、外国の言葉だったものがそのまま日本語になった単語がある。探してみよう! そしてそれはどの国の言葉だったのか考えよう!

- (1) 天麩羅
- (2) 金平糖
- (3) 合羽
- (4) 家主貞良
- (5) 煙草
- (6) 歌留多
- (7) 麵麭
- (8) 鈕

■外国の言葉だったものがそのまま日本語になった単語

■元々はどの国の言葉だったのか(全部同じ国からきた言葉です)

[桃山文化]

問題 教科書P.110~111には4人の新しい人物が登場します。すべて○で囲もう。



■これらの人々が活躍した時代(=安土桃山時代)の文化を _____ という!

問題 この文化の特徴を一言で表した言葉を、教科書から漢字2文字で探します。探せたら○で囲み、プリントにも記入しよう。

⇒



[桃山文化のまとめ]

城の建築	
美術	屏風絵 … 磁器 …
茶の湯	
舞踊	
南蛮文化	南蛮貿易によって様々なものや考え方が日本にもたらされる。 <input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ○
その他	衣服 … 生活 … 物語 …

○桃山文化の特徴が分かった。	A	B	C
○この時代に、南蛮の文化も日本にたくさん入ってきたことが分かった。	A	B	C
意見欄			評価